

夏

歳
時

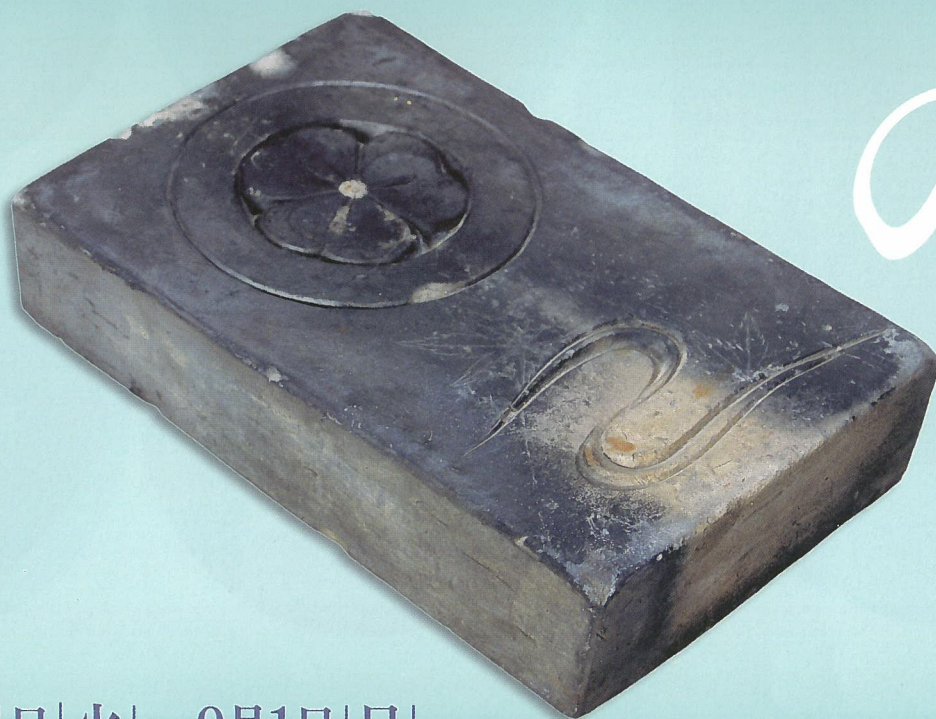
記
よ
り

Folk Craft of the Four Seasons

民 芸

四 季

の



2019年5月21日|火|~9月1日|日|

[時 間] 午前9時~午後5時
[会 場] 第1民芸館、第2民芸館
[観覧料] 無 料
[休館日] 月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館)

交通のご案内
[電 車] 名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約15分
[車] 東海環状自動車道豊田勘八ICより10分

豊田市民芸館
Toyota City Folk Craft Museum

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100
TEL 0565(45)4039
<http://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

写真上/竜田川文押さえ瓦 季語「糸取(傍題:糸引女)」
写真下 左から/漆桶 季語「漆掻」
雲文石皿(愛知) 季語「雲の峰」
ガラス徳利 季語「ギヤマン(傍題:びいどろ)」



四季の民芸

Folk Craft of the Four Seasons
歳時記より

日本人は古来より四季の移り変わりを感じ、そこに存在する事物を愛でて暮らしてきました。当館所蔵の民芸品からもそうした四季を感じ取ることができます。今回は収蔵品自体やそこに描かれた文様を、四季の事物や年中行事をまとめた書物「歳時記」より四季と新年に分け、夏を主とした民芸品を約250点紹介します。



[写真]
左：薬筆筒 季語「薬符」
上段：左 飯入籠(鹿児島) 季語「飯炊(傍題：飯籠)」
上段：右 雲文石皿(愛知) 季語「雲の峰」
下段：左 緋芭蕉布着物(部分) 季語「生布(傍題：芭蕉布)」
下段：右 牡丹唐草文半胴(鹿児島) 季語「甘酒」



ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

2019年7月28日(日)午後2時～
会 場：豊田市民芸館(第1民芸館集合)
参加費：無料 定 員：先着20名(事前申込不要)

四季の染めもの体験 -夏の葛染め-

材料や染液、染めの工程などのレクチャーの後、精錬済みの綿麻のストールを葛で染める。

7月14日(日)午後1時～3時
参加費：2,300円 対 象：小学5年生以上・12名
申込み：講座名・氏名・中学生以下は学年・住所・電話番号を記入の上、往復はがきで7月2日(火)までに必着

※写真のストールは葛で染めたものですが、実際に体験で使用する生地と同じ形ではありません。また、材料の状態によって染め上がりの細やかな色合いが変わります。



四季の民芸 関連展示 入館無料

2019年6月1日(土)～7月28日(日) 会 場：豊田市民芸館(第3民芸館)

豊田市民芸館

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100 TEL 0565(45)4039
<http://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>